

情報モラル教育通信

令和8年3月発行
佐賀市教育委員会 学校教育課

春休みを迎える前に ～データの整理も忘れずに～

令和7年度も残りわずかとなりました。各学校やご家庭、地域の皆様におかれましては、日々の学習や学校生活、学校行事など、様々な面でご協力いただき、ありがとうございます。

さて、新年度が近づいてきています。進級、進学に備えて、これまで使用していた道具を整理・点検するなど、次への準備をする時期でもあります。パソコンも同じように、パソコン本体、アダプタが両方ともあるかを確認し、保存していたデータは必要なものは残し、使わないデータは削除するなど整理をしておくことで、新年度の学習をスムーズに迎えることにつながります。春休みを前に、パソコンのデータの整理整頓をしておきましょう。



「クラウド」って、何？

最近よく使われている言葉の一つに「クラウド」があります。

クラウドとは、「クラウド/コンピューティング」の略で「インターネットを通じてソフトウェアやデータなどを利用するコンピュータの利用形態」のことをいいます。このクラウドを利用したサービスがクラウドサービスです。インターネットにつながる環境であれば、いつでも、どこでもデータ編集などを行うことができます。

佐賀市の小中学生がパソコンで作成したデータは、マイクロソフトのクラウド「ワンドライブ」の個人フォルダに保存することができます。そのため、学校で作成したスライド資料や文書などは、インターネットに接続することで、自宅でも続きを行うことができたり、自宅で作成した資料を学校で利用することもできます。

1人1台パソコンで作成していたデータは整理する必要があります。保存しておきたいデータは、パソコンからワンドライブへ移動させておきましょう。

とても便利なものですが、使い方を誤ると、とても大変なことになります。インターネット上に保存しているものですので、絶対に安全とは限りません。

そのため、安全・安心に利用するために、次のことを気を付けましょう。

①アカウント情報（IDとパスワード）は、他人に教えない

アカウント情報は、ホテルの部屋に例えれば、「ID」は部屋番号、「パスワード」は鍵になります。アカウント情報を教えることは、教えられた人が自分の部屋に勝手に入ってきてしまうことになります。

②個人が特定される情報は保存しない

名前や所属（学校名など）を一つの情報として保存していると個人が特定されてしまいます。例えば、「佐賀小学校 6年1組 佐賀 太郎」は、個人が特定されます。写真や動画も同様です。名前や学校名などが映っていると個人が特定されてしまいます。名前を保存しないなどの対策をとりましょう。

「毎日ネットに触れる子どもたちを守るために」



子ども家庭庁「毎日ネットに触れる子どもたちを守るために」では、インターネットの脅威から子どもたちを守るための対策や取組等が掲載されています。SNS投稿に関するリスクや誹謗中傷／ネットいじめ、同意のない顔写真棟の利用など、保護者にとって子どもを守るためにおさえておきたいポイントが分かりやすく解説されています。子ども家庭庁のホームページからご覧になれますので、是非ご家庭でご活用ください。

子ども家庭庁ホームページ
「普及啓発リーフレット集」



情報モラル出前講座について

情報モラル教育授業、PTAの教育講演会等で利用される場合は、各学校から以下の団体等に直接申し込みを行ってください。

○NPO法人 ITサポート佐賀 「情報モラル講演・セミナー」
<https://www.it-saga.jp/kouen/>



○一般財団法人マルチメディア振興センター 「e ネットキャラバン安心講座」
<https://www3.fmmc.or.jp/e-netcaravan/>

○NTTドコモ 「スマホ・ネット安全教室」
https://www.docomo.ne.jp/corporate/csr/social/sustaina_school/educational/



○KDDI 「スマホ・ケータイ安全教室」
<https://www.kddi.com/corporate/sustainability/lesson/>